

### 経営課題3 施策を実現するための仕組みの推進

(めざすべき将来像)

一人一人の教職員が自律性を備えた人材としてその能力を高め、教育活動で専門性を十分発揮するとともに、学校園が組織としての自主性・自律性を高め、特色ある教育実践を展開することにより、学校園が子どもたちの活気あふれる場となる状態をめざす。

#### 戦略3－1 学校の活性化

##### <取り組む内容>

学校園での取組が組織的・継続的に改善できるような仕組みを構築し、学校園が子どもたちの活気にあふれる場となるように、一人ひとりの教職員がその持てる能力を発揮できる環境の整備、さらには、学校園が組織としての自主性・自立性を高め、特色ある教育実践を展開できるようにしていく。

また、学校の配置や規模における教育環境の最適化など、今後の人口減少、特に児童生徒の減少を見据えつつ、将来にわたって、安定した教育活動が進められるよう、持続可能な教育環境の改善を図るための取組を進める。

##### <戦略（取組の方向性）>

各校において独自の創意のある教育実践が取り組まれるよう、校長によるマネジメント体制や校長・教頭を支援する仕組みの強化を図るとともに、教職員の子どもと向き合う時間が増えるよう、ＩＣＴの活用や外部人材の導入などにより校務負担の軽減を進める。

学校で特色ある教育実践が展開されるよう、学校施設の整備や学校配置の適正化などにより安心・安全・良好な教育環境の整備を進める。

#### 1 局運営方針に掲げた具体的取組の状況等

##### (1) 具体的取組の達成状況

###### 3-1-1 分権型教育行政システムによる学校マネジメントの支援

###### 【取組内容・実績】

区担当教育次長は、区内の学校園や地域の実態を把握し、安全で安心できる教育環境の実現や、学力・体力の向上などの教育課題を解決するため、学校園の支援を行った。

- ・保護者・区民等の教育に関連するニーズや学校の状況の把握
- ・学校協議会の運営の補佐
- ・校園長の人事に関する意見
- ・学校との防災・減災に関する情報の共有及び学校等と連携した取組の実施
- ・学校の状況に応じたサポート
- ・学校施策評価による学校の目標（指標）の達成状況及び取組の評価
- ・各事業の実施（各区の特徴的な事業）

不登校への支援事業、こどもサポートネット事業、学校との連携による子育て世帯の支援事業、児童虐待防止アウトリーチ事業、中学生被災地訪問事業、ゲストティーチャー派遣事業、鑑賞教育事業、学校園支援ボランティア事業、小中学校交流かけはし事業、民間事業者を活用した課外学習支援事業、基礎学力向上事業、グローバル人材育成事業、プログラミング教育支援事業、日本語指導の必要な児童生徒の支援事業、国際理解教育支援事業、体力向上事業 等

業績目標	令和元年度実績	令和2年度実績
各区が実施した事業について、設定した指標が「達成した（概ね達成した）」と回答する区の割合 80%以上	87.5%	95.8%

課題	改善策
<ul style="list-style-type: none"> <li>取組全体としては区が学校、地域の実情に応じた学校教育支援を行っているが、校長経営戦略支援予算区担当教育次長枠（小学校）において、一部個別の学校への支援のあり方について検討する必要がある。</li> <li>学校については、新型コロナウイルス感染症対策として、外部の人の立ち入り制限や授業時数確保の優先を図った。そのため、スポーツ出前講座等、計画していた内容での実施ができないなど、円滑な事業の実施が困難であった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>校長経営戦略支援予算区担当教育次長枠に対する学校の理解が深まるよう説明を行い、教育行政打合せを活用し学校のニーズを把握しながら学校教育支援の取組みを進める。</li> <li>計画していた内容での事業実施が困難であったため、感染症対策を実施した上で教育委員会事務局・区役所・学校とが一層綿密に連携した上で、学校のニーズに応じた支援を行っていく。</li> </ul>

### 3-1-2 校園長によるマネジメントの強化

#### 【取組内容・実績】

各校で校長がリーダーシップを發揮し、独自の創意のある教育実践が取り組まれるよう、校長経営戦略支援予算等の制度を適正に執行するとともに、学校の課題・特性に応じて校長・教頭を補佐する体制の構築・強化を図った。

- 校長経営戦略支援予算の基本配付 全校
- 校長経営戦略支援予算の加算配付 計9校
- 校長経営戦略支援予算の区担当教育次長執行枠 全区
- 副校長の配置 小中学校計28校
- 教頭補佐（首席）の配置 小学校31校、中学校15校
- 教頭補助の配置 小中学校計72校
- 校長裁量拡大特例校の設置 小中合わせて10校（再掲）

業績目標	令和元年度実績	令和2年度実績
校長経営戦略支援予算により実施した取組の年度目標を達成した学校の割合 90%以上	90.5%	96%
副校長等の配置校からの報告書で、課題が改善したと回答する学校の割合 90%以上	100%	100%

課題	改善策
<ul style="list-style-type: none"> <li>校長経営戦略支援予算において、各学校・区の取組が迅速かつ適正に実行できるよう、予算管理や調達業務等の各種事務手続について、引き続き助言・調整等を行う必要がある。</li> <li>課題把握のスピード化、最適化を図り、早期に課題を見極めることができるようにするとともに、適切な目標設定を行えるようにする必要がある。</li> <li>校長裁量拡大特例校の成果のあった取組については、全市展開する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校運営支援センターや調達担当部署等の関係先と連携し、通知文書の更なる改善など、各学校・区の取組の実施に係る支援を隨時行う。</li> <li>課題把握を適切に行うことができるようエビデンスに基づいたデータの整備を行うとともに、学校の実情をしっかりと把握した上で、目標設定ができるよう、目標設定の期間について検討を行う。</li> <li>校長裁量拡大特例校の成果のあった取組についてとりまとめ、全市展開を図っていく。</li> </ul>

### 3-1-3 校務負担を軽減するための環境整備

#### 【取組内容・実績】

ICTの活用による学校経営の効率化・高度化や学校の情報発信の促進、教員間の知見の共有等を進めため、セキュリティを含めシステムの運用の向上と安定を図り、研修等を通じて全校での利活用を促進した。

校務支援システムのグループウェア機能について教職員利用者ログを用いて前年度との比較、分析を実施し、利活用促進を図った。

コンサルタント会社からの最終報告書、中央教育審議会からの学校における働き方改革の答申及び文部科学省からの勤務時間の上限に関するガイドラインを踏まえ、令和元年度に策定した「学校園における働き方改革推進プラン」で示す取組を実施した。

- ・システムの利活用に関する管理職等の研修会 2回
- ・情報セキュリティ e ラーニングの実施 1回
- ・教職員向けのシステムに関する広報誌の発行 隔月 1回程度
- ・システムへの意見・要望の集約と改善内容の公表 適宜
- ・学校業務改善ワーキンググループの開催 3回
- ・スクールサポートスタッフの配置 小中学校計 135 校

業績目標	令和元年度実績	令和2年度実績
学校アンケートにおいて、校務支援システムのグループウェア機能の活用により、学校課題や児童生徒情報などの情報共有について改善が図れたと回答する教職員の割合 70%以上	86%	90.4%
「学校園における働き方改革推進プラン」で示す教員の勤務時間の上限に関する基準を満たす教員の割合を前年度から改善する。	【基準1】43.4% 【基準2】68.3%	【基準1】45.3% 【基準2】70.5%
調査・照会文書数（教委独自分） 前年度以下	403 件	313 件
スクールサポートスタッフの配置校において、教職員の長時間勤務の解消を図り、教職員一人あたりの時間外勤務時間を配置前と比較して年間36 時間減少させるとともに、教職員へのアンケートにおいて、子どもと向き合う時間等についての環境改善が図れたと回答する割合 80%以上	89.6%	99.2%

課題	改善策
<ul style="list-style-type: none"> <li>・Bee ネットポータルの廃止に伴う文書連絡機能の活用により、マニュアルを作成したが、ヘルプデスクの架電内容を含め更新する必要がある。</li> <li>・学校業務改善ワーキンググループ等で得られた学校園現場の意見を踏まえると、負担軽減が十分に図られているとまではいえないことや、今後の新型コロナウイルス感染拡大状況によっては新たな対応を求められることも考えられることなどから、教職員の負担軽減を図ることが最優先課題である。</li> <li>・教職員アンケートの結果により、スクールサポートスタッフについて一定の効果が見込まれることから、一層充実させ、推進していく必要がある。</li> <li>・スクールサポートスタッフとしての人材を確保する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運用事業者及びヘルプデスクと連携し、マニュアルの更新を行っていく。</li> <li>・引き続き、学校業務改善ワーキンググループ等で得られた学校園現場の意見を踏まえながら、意見交換を重ね、教職員の負担軽減策の実施・検討に取り組んでいく。</li> <li>・校務負担を軽減するための取組について、有効活用が図られた事例等を例示し、より有効な活用を図っていく。</li> <li>・ホームページ等の直接募集に加えて、国から提供を受けている「学校・子供応援サポート人材バンク」の活用や、各学校からの推薦など、様々な手法で人員確保に取り組んでいく。</li> </ul>

<b>【基準1】</b>
次のA及びBの基準を満たすこと
A 1か月の在校等時間の総時間から条例等で定められた勤務時間を減じた時間が45時間を超えないようにすること
B 1年間の在校等時間の総時間から条例等で定められた勤務時間の総時間を減じた時間が360時間をを超えないようにすること
<b>【基準2】</b>
基準1を原則としつつ、児童等に係る臨時的な特別の事情により勤務せざるを得ない場合についても、次のAからDまでの基準を満たすこと
A 1年間の在校等時間の総時間から条例等で定められた勤務時間の総時間を減じた時間が720時間をを超えないようにすること
B 1か月の在校等時間の総時間から条例等で定められた勤務時間の総時間を6減じた時間が45時間を超える月を1年間に6月までとすること
C 1か月の在校等時間の総時間から条例等で定められた勤務時間の総時間を減じた時間が100時間をを超えないようにすること
D 連続する複数月（2か月、3か月、4か月、5か月、6か月）のそれぞれの期間について、各月の在校等時間の総時間から条例等で定められた各月の勤務時間の総時間を減じた時間の1か月当たりの平均が80時間をを超えないようにすること

### 3-1-4 学校配置の適正化

#### 【取組内容・実績】

令和2年4月施行の条例・規則に基づき、児童の良好な教育環境の確保、教育活動の充実を図るため、区役所と連携のうえ、学校再編整備計画を策定・公表し、学校配置の適正化を進めた。

また、適正配置が円滑に取り組めるよう、学校配置の適正化推進ワーキンググループを開催し、教育環境の確保、教育活動の充実策等の検討を行った。

- ・学校適正配置対象校のうち、速やかに学校再編整備計画案の検討を行った学校 45校（すでに統合が決定した1校を除く）
- ・学校適正配置対象校のうち、学級数、児童数の推移を十分注視し、学校再編整備計画案の検討を行った学校 38校

業績目標	令和元年度実績	令和2年度実績
次期教育振興基本計画の策定にあわせて、学校再編整備計画の策定をめざす。学校適正配置対象校のうち、4校の統合を決定する。		4校
課題	改善策	
・令和2年4月施行の条例・規則に基づき、児童の良好な教育環境の確保、教育活動の充実を図るために、学校配置の適正化の取組を推進する必要がある。	・令和2年4月施行の条例・規則に基づき、児童の良好な教育環境の確保、教育活動の充実を図るために、学校・地域・保護者との調整を行い学校再編整備計画を策定・公表できるよう、必要な取組内容を学級数や児童数の推移を注視しつつ、滞ることなく進めていく。	

### 3-1-5 学校施設の老朽化への対応

#### 【取組内容・実績】

高度成長期以降、昭和40年代後半から昭和57年代にかけて建設された校舎等の老朽化が進んでいることから、安全・安心・良好な教育環境の確保に向けて、老朽改築と共に、施設を長く維持するための長寿命化改修を実施することで、施設の更新・維持管理に係る事業費の縮減や平準化に努めながら、学校施設の整備を行った。

- ・老朽改築 実施設計 8校、新規工事 8校
- ・長寿命化改修 実施設計 10校 新規工事 4校

業績目標	令和元年度実績	令和2年度実績
取組内容どおり	100%	100%
課題	改善策	
・夏休み期間に実施予定の長寿命化改修工事について、新型コロナウイルス感染症対策の影響による夏休み期間の短縮により、1校が未実施となった。	・未実施となった工事は、次年度に実施を予定している。	

・また今後、さらに老朽化した校舎が増えることから、施設の更新・維持管理に係る事業費の縮減や平準化に努めながら、学校施設の整備を行う必要がある。	・施設を長く維持するための長寿命化改修工事を確実に実施し、中長期的な施設の更新・維持管理にかかる事業費の縮減を図る。
---	--

## (2) 各取組の成果（アウトカムの進捗状況）

### ＜アウトカムの進捗状況＞

アウトカムの進捗状況			
達成目標	令和元年度	令和2年度	進捗状況
令和2年度末に、自校の「運営に関する計画」が目標どおり達成できたと回答する学校の割合を75%以上にする。	90.3%	76.7%	A

### ＜課題＞

- I C Tの活用やスクールサポートスタッフ等外部人材の導入などにより、教員の長時間勤務については改善が見られているが、新型コロナ感染症拡大防止の影響により、新たな対応を求められることも考えられる。

## 2 戰略を通した今後の対応方向

「学校園における働き方改革推進プラン」に示す取組を実施し、引き続き教員の長時間勤務の解消を図っていく。

### 戦略3－2 教職員の資質向上と能力発揮

#### ＜取り組む内容＞

教職員については、教員に求められる資質・能力を備えた人材を確保するとともに、採用後においては自律性を備えた人材としてその能力を高め、教育活動で専門性を十分に発揮できるよう支援する。

#### ＜戦略（取組の方向性）＞

優れた教育実践の創造・共有が進むよう、教員の主体的な研究を支援し、その結果を「知」の財産として共有するための環境を整備するとともに、経験豊富な教員から若手教員へ指導技術が継承されるよう、メンター（若手教員リーダー）の育成や校内研修の支援を推進する。

## 1 局運営方針に掲げた具体的取組の状況等

### (1) 具体的取組の達成状況

3-2-1 教育実践のイノベーションにつながる研究の推進		
業績目標	令和元年度実績	令和2年度実績
「がんばる先生支援」教員グループ並びに学校園への研究支援に関する審査会において、達成目標に到達していると評価された研究の割合 100%	100%	100%

課題	改善策
<ul style="list-style-type: none"> <li>汎用性の高い研究成果を各校園や教員が活かせるようにするため、研究成果が活用されているかどうかを検証するとともに、活用についてさらに周知を図る必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究発表会において参加者にアンケートを実施するなど、研究成果の活用状況を把握するとともに、「waku<sup>x2</sup>.com-bee」に登録したコンテンツを新任研修等で紹介するなど、研究成果が活用できるよう工夫する。</li> </ul>

### 3-2-2 若手教員の指導力向上と校内研修の支援

#### 【取組内容・実績】

メンターの育成・活用を通して組織的な若手教員の育成に取り組み、教員相互の学び合いにつながる校内研修が実施されるよう、退職校長の派遣や研修の実施等の支援を行った。

- ・小中学校のメンター研修 2回
- ・2年目教員の直接指導および授業・保育研究を伴う校園内研修体制づくりへの支援のための退職校園長等の派遣 1,985回
- ・校内研修主担者研修 未実施（新型コロナのため）
- ・幼稚園・小中学校のOJTグループ研修 1回（20講座）
- ・学力向上推進事業における推進校に対する学力向上指導実践チームの訪問指導の実施 小中 240校

業績目標	令和元年度実績	令和2年度実績
教育センターOJT事業評価アンケート（1月）で「授業が『わかる』『楽しい』と答える児童・生徒が増えた」とする旨の質問に対して、肯定的回答をする学校の割合 80%以上	幼稚園 100% 小学校 94% 中学校 98%	幼稚園 100% 小学校 94% 中学校 98%

課題	改善策
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各校園の若手教員研修を工夫し、さらに活性化を図る必要がある。</li> <li>・学校のニーズに応じた支援ができるよう指導主事への研修をより充実させることが必要である。</li> <li>・OJTや学力向上指導実践チームの訪問指導においては、1つの学校に複数の担当者が関わっており、多面的に状況を見られる反面、指導の一元化が図れていない状況があった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育指導員の校園訪問及び直接指導により、各校園の校園内研修体制づくりへの支援を継続し、若手教員育成を中心とした校園内研修の充実・活性化を図る。</li> <li>・学校課題に応じたよりきめ細かな支援を実施する。</li> <li>・令和4年度の担当者一元化に向けた体制づくりを検討していく。</li> </ul>

### 3-2-3 シンクタンク機能の充実

#### 【取組内容・実績】

これまでの全国学力・学習状況調査等の詳細かつ多面的な分析によって得られた客観的な結果をもとに、本市及び各小中学校の取組の成果と課題を検証し、各校の取組の改善・強化に役立てた。

- ・各校の指導要請や新任教員研修、教科等指導力向上研修等において、「waku<sup>x2</sup>.com-bee（大阪市の授業のスタンダード）」の内容を資料として活用
- ・「waku<sup>x2</sup>.com-bee（大阪市の授業のスタンダード）」にコンテンツを約700追加（3月現在 約6,500登録）
- ・各学校からwaku<sup>x2</sup>.com-beeのコンテンツ（指導案・ワークシート・資料等）を登録申請できるように、9月にワークフローを周知

<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学・行政機関連携モデル校 8校</li> <li>・校長裁量拡大特例校の設置 10校（再掲）</li> <li>・新・大阪市総合教育センター（仮称）の設置に向けた調査・研究</li> <li>・大学と連携した研修の企画・開発・運営</li> </ul>			
業績目標	令和元年度実績	令和2年度実績	
「自校の全国学力・学習状況調査の結果を大阪市の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等へ反映させている」学校の割合 95%以上	98%	未測定 ※新型コロナによる全国調査中止のため	
教材研究や研修等の際、「waku <sup>x2</sup> .com-bee（大阪市の授業のスタンダード）」の有効性を問う調査において、肯定的回答をする教員（年次研修対象者）の割合 80%以上	100%	93%	
大学と連携・協働して開発した研修が、自校の取組や実践に役立ったと回答する学校の割合 90%以上		91%	
課題	改善策		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材研究や研修等でより有効に活用できるよう「waku<sup>x2</sup>.com-bee（大阪市の授業のスタンダード）」のコンテンツの質と量を充実させるとともに、より活用しやすいポータルサイトをめざす必要がある。</li> <li>・課題把握のスピード化、最適化を図り、早期に課題を見極めることができるようになるとともに、適切な目標設定を行えるようにする必要がある。</li> <li>・校長裁量拡大特例校の成果のあった取組については、全市展開する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「waku<sup>x2</sup>.com-bee（大阪市の授業のスタンダード）」のコンテンツを充実させるため、各校や教育研究会等と連携し、指導案・ワークシート・資料等のコンテンツの更新や追加を進める。</li> <li>・「waku<sup>x2</sup>.com-bee（大阪市の授業のスタンダード）」の再構築に合わせ、さらに活用しやすいポータルサイトにする。</li> <li>・課題把握を適切に行うことができるようエビデンスに基づいたデータの整備を行うとともに、学校の実情をしっかりと把握した上で、目標設定ができるよう、目標設定の期間について検討を行う。</li> <li>・校長裁量拡大特例校の成果のあった取組についてとりまとめ、全市展開を図っていく。</li> </ul>		

### 3-2-4 小中一貫教育の推進

#### 【取組内容・実績】

すべての中学校区で、「大阪市小中連携推進プラン」に沿って各校区の「小中連携アクションプラン」の作成を行った。また、各校区のアクションプランに基づき小中連携した取組が実施されるよう、実施に課題がある学校を中心に支援を行った。

施設一体型・隣接型小中一貫校においては、9年間を見通した特色のある教育が実践されるよう、専門性を生かした授業、少人数授業等の充実を図った。

- ・小中連携コーディネーター研修 未実施（新型コロナのため）
- ・小中教員が協働した授業の実施 各中学校区アクションプランに基づき実施
- ・少人数授業の充実 各中学校区アクションプランに基づき実施
- ・施設一体型・隣接型小中一貫校の検証 各一貫校の特色ある取組の調査を実施

業績目標	令和元年度実績	令和2年度実績
小中連携した教育に関する取組を進め、学校調査で「中学進学に不安を抱く児童が減少した」とする旨の回答の割合 前年度同等	98.0%	95.7%

課題	改善策
<ul style="list-style-type: none"> <li>・相互授業参観、生活指導上の指導方法や体制の共通理解などの小中連携による取組については、各中学校区において一定定着してきたが、さらなる小中一貫教育の推進にあたっては、連続性・系統性がある教育内容の編成、実施が必要である。</li> <li>・小中連携コーディネーター研修が実施できなかつたことを受け、研修等の実施については、新型コロナウイルス感染症対策における新しい生活様式に則した手法を模索しつつ、内容の充実を図る必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実績の数値は高いものの、前年度を下回っている状況であるため、連続性・系統性のある小中接続のプログラムの好事例を共有し、取組の実践が進むように支援を行っていく。</li> <li>・研修における優れたプログラムの共有等にあたっては、e-ラーニング等が実施できるよう整備を図っていく。</li> </ul>

## (2) 各取組の成果（アウトカムの進捗状況）

### ＜アウトカムの進捗状況＞

達成目標	令和2年度		
	全国	本市	進捗状況
令和2年度末に、全国調査の「国語・算数（数学）は好きですか」「国語・算数（数学）の授業の内容はよくわかりますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童生徒の割合を全国平均以上にする。	小学校未測定 <small>参考：令和元年度 「好き」 国語 64.2% 算数 68.6% 「わかる」 国語 84.9% 算数 83.5%</small>	小学校未測定 <small>参考：学力経年調査結果 「好き」 国語 59.4% 算数 61.3% 「わかる」 国語 87.3% 算数 82.3%</small>	B
	中学校未測定 <small>※ 新型コロナによる全国調査中止のため</small>	中学校未測定 <small>※ 新型コロナによる全国調査中止のため</small>	—

### ＜課題＞

- ・全国学力・学習状況調査が未実施のため、小学校のみの調査結果ではあるが、算数の学習理解や興味・関心に関するアウトカム指標に大きな改善が見られる。中学校を含む全項目の目標達成にむけて、引き続き教員の指導力向上に向けた取組の充実が必要である。

## 2 戰略を通した今後の対応方向

教員の実践的な研究活動を支援するとともに、その研究成果を全市校園で活用できるように、「waku<sup>x2</sup>.com-bee（大阪市の授業スタンダード）」コンテンツの充実を図っていく。  
 学力向上サポート訪問等により成果事例の周知を行っていく。  
 大学と連携・協働した研修等の取組を推進し、次世代を担う教員・管理職の育成と資質向上を図っていく。

## 2 「市政改革プラン3.0」に基づく取組等

【取組項目1】質の高い学校運営	
<b>趣旨・目的</b>	
各学校がその組織としての力を十分に発揮して、成果を上げることができるよう、組織面や負担軽減などの支援に取り組む。	
<b>取組内容・目標</b>	
<ul style="list-style-type: none"><li>・waku<sup>x2</sup>.com-bee（大阪市の授業のスタンダード）の充実</li><li>・学力向上推進事業の成果を学力向上サポート訪問等で全市に展開する。</li><li>・授業力向上アドバイスシートの活用</li><li>・専門家・サポートスタッフの活用、部活動の改革、働き方改革の指針の実施、保護者・地域への理解の推進</li><li>・副校長・首席（教頭補佐）・主務教諭の効果的な活用の検討</li><li>・サポート人材の一元化の検討<ul style="list-style-type: none"><li>スクールサポートスタッフの配置拡大と他の補助員の見直し</li></ul></li><li>・習熟度別少人数授業など、指導方法改善手法の柔軟化の検討<ul style="list-style-type: none"><li>実施教科（国語）の見直し、教科担任制による教科指導の充実</li></ul></li><li>・講師不足への対応策の検討</li></ul>	
<b>当年度の取組実績及び目標の達成状況</b>	
<ul style="list-style-type: none"><li>・各校の指導要請や新任教員研修、教科等指導力向上研修等において、「waku<sup>x2</sup>.com-bee（大阪市の授業のスタンダード）」の内容を資料として活用した。</li><li>・「waku<sup>x2</sup>.com-bee（大阪市の授業のスタンダード）」にコンテンツを約700追加した。（3月現在 約6,500登録）</li><li>・各学校からwaku<sup>x2</sup>.com-beeのコンテンツ（指導案・ワークシート・資料等）を登録申請できるようになり、9月にワークフローを周知した。</li><li>・学力向上サポート訪問で成果の周知を行った。</li><li>・授業力向上アドバイスシートの活用を行った。</li><li>・専門家・サポートスタッフの活用、部活動の改革、働き方改革の指針の実施、保護者・地域への理解の促進を図った。</li><li>・習熟度別少人数授業など指導方法改善手法の柔軟化の検討を図った。</li><li>・講師不足への対応策を検討・実施した。</li></ul>	

【取組項目2】教育を支える力の育成	
<b>趣旨・目的</b>	
子どもたちに直に接する教員の資質向上を支援するとともに、学校の教育活動を支援する事業・取組の質の向上を図る。	
<b>取組内容・目標</b>	
<ul style="list-style-type: none"><li>・人材育成方針の策定 教職課程において、学校現場での実習等を充実し、意欲と経験を持った教員希望者の要請を支援する。</li><li>・大学と連携した専門的研修の提供 中堅教員を対象とした研修と大学院の教育カリキュラムを連携させ、キャリアステージに応じた研修体系を検討し、学び続ける教員を育成した。</li><li>・事務局の4ブロック化の推進 指導主事の体制を充実し、学校への指導助言の質的向上を図り、きめ細かな学校支援を行う。</li></ul>	

- ・地域活動協働研究としての整備 これまでのはぐくみネットや学校元気アップ地域本部の事業等の連携を基礎とした、今後の地域と学校が協働していく仕組みを整備していく。

#### 当年度の取組実績及び目標の達成状況

- ・大学院生に対する学校現場実習を通じた人材育成
- ・大学と連携した専門的研修の提供 未実施（新型コロナのため）
- ・事務局の4ブロック化を進め、指導主事を充実
- ・地域学校協働活動の推進に向け、学校教育・生涯学習・地域活動の垣根を越え、局横断的に包括的な議論を進めるため、地域学校協働活動推進プロジェクトチーム会議を開催し、今後の詳細な制度設計、地域への丁寧な周知に向け、年度末に「めざすべき具体像」と「スケジュール」を提示

#### 【取組項目3】成果を意識した制度の構築

##### 趣旨・目的

教育委員会事務局と学校がより緊張感をもって、一体となって学力向上など、教育目標に向かって取り組むための、制度を構築する。

##### 取組内容・目標

- ・学力テスト等の人事評価への反映を含む新たな人事・給与制度の施行実施に向けた検討
- ・学力向上に寄与する施策により学校を支援し、校長経営戦略支援予算の改編により、成果へのインセンティブが働く仕組みの導入を検討する。
- ・学力向上や生徒指導上の成果を上げた教職員への新たな表彰制度を検討
- ・学力向上推進事業の取組の検証や表彰制度の検討など、教育ビッグデータ活用検討PTで外部の知見を活用しながら、効果的な施策の構築を行う。

#### 当年度の取組実績及び目標の達成状況

- ・学力向上の成果等の人事評価への反映を含む新たな人事評価・給与制度の試行実施に向けた検討を行った。
- ・校長経営戦略支援予算は、令和2年度から小中学校に対する加算配付をブロック化による学校支援事業の一部へ編みかえ、各ブロックにおいてその実情に応じた支援が可能となるようにした。
- ・教育ビッグデータ活用検討PTにおいて学力向上推進事業の見える化を分析した。

#### 【取組項目4】持続可能な教育環境の確保

##### 趣旨・目的

今後の少子高齢化社会の進展を見据え、学校が将来にわたって成果を上げるための環境整備を計画的に行う。

##### 取組内容・目標

- ・次期教育振興基本計画の策定にあわせて、学校再編整備計画の策定をめざす。
- ・学校適正配置対象校のうち、4校の統合を決定する。
- ・また、適正配置が円滑に取り組めるよう、学校配置の適正化推進ワーキンググループを開催し、教育環境の確保、教育活動の充実策等の検討を行う。
- ・市立高等学校の大阪府への移管について、基本的な考え方を合意し、移管計画の策定に向けた検討を進める。

#### 当年度の取組実績及び目標の達成状況

- ・区役所担当者に対して、学校配置の適正化に向けた取組の進め方等の各種資料を提供了した。また、学校配置の適正化推進ワーキンググループを3回開催し、教育委員会事務局内の役割分担を決定し、区役所

担当者へ担当部署及び支援内容を明示するとともに、区役所が円滑に学校再編整備計画案を作成することができるよう、支援内容の検討を行った。

- ・5月市会において「大阪市立学校設置条例の一部を改正する条例案」が可決され、4校の統合を決定した。
- ・12月に大阪市、大阪府の両議会で、移管に係る条例が可決された。

## 【取組項目5】未利用地の売却・転活用の促進

### 趣旨・目的

未利用地の売却・転活用に向けた取組を促進し、市有財産の有効活用と財源の確保を図る。各学校がその組織としての力を十分に発揮し、成果を上げることができるよう、組織面や負担軽減などの支援に取り組む。

### 取組内容・目標

- ・処分検討地となっている未利用地について、処分年度に応じて区役所と連携し、地域の理解を得ながら検討を進め、計画的に売却できるよう進める。
- ・売却や事業化に相当な期間を要する土地については、周辺のまちづくりに寄与する観点にも留意しつつ暫定的な貸付を行い、財源の確保に努める。
- ・境界確定が容易でない等、商品化が困難なものについては、測量・登記事務等民間に委託し、スピード感をもって取り組む。

### 当年度の取組実績及び目標の達成状況

- ・売却予定地であるもと難波特別支援学校（木津川）学習園用地の売却手続きを行う予定であったが、土壤汚染調査の結果、基準値を超える土壤汚染が確認されたため、環境局と協議のうえ引き続き土壤汚染調査を行う必要が生じた。

## 【取組項目6】民間委託化の推進

### 趣旨・目的

業務の効率化を図るため、事務事業の民間委託化を推進する。

### 取組内容・目標

- ・処分検討地となっている未利用地について、処分年度に応じて区役所と連携し、地域の理解を得ながら検討を進め、計画的に売却できるよう進めていく。
- ・売却や事業化に相当な期間を要する土地については、周辺のまちづくりに寄与する観点にも留意しつつ暫定的な貸付を行い、財源の確保に努める。
- ・境界確定が容易でない等、商品化が困難なものについては、測量・登記事務等民間に委託し、スピード感をもって取り組んでいく。

### 当年度の取組実績及び目標の達成状況

- ・新たに6校で小学校給食調理業務の民間委託を実施した。（計124校）

## 【取組項目7】職員数・超過勤務の縮減

### 趣旨・目的

事務局職員については、全市的な方針に基づいた人員体制の構築に務める。

時間外勤務の上限規制を踏まえ、超過勤務の縮減に取り組む。

管理作業員・給食調理員について、引き続き削減を着実に行う。あわせて、超過勤務の縮減に取り組む。

### 取組内容・目標

- ・管理作業員については、業務の効率化に伴う見直しや事務転任等を実施する。・給食調理員については、給食調理業務の民間委託化に伴う見直しや事務転任等を実施する。
- ・時間外勤務の上限規制を踏まえて、超過勤務の縮減に取り組む。
- ・管理作業員については、36人削減する。(累計94人見込み)
- ・給食調理員については、40人削減する。(累計84人見込み)【いずれも令和3年4月現在】
- ・時間外労働時間について、全市的な方針・指針を踏まえ、縮減に取り組む。

#### 当年度の取組実績及び目標の達成状況

- ・超過勤務については、所属管理監督者への呼びかけや働き方改革を踏まえた長時間労働の是正に向け、超過勤務実績状況を所属管理監督者へ周知するなど、コロナ禍での状況による緊急対応等を勘案しつつ、可能な限り削減に向けた取組を行った。
- ・管理作業員については、38人削減した。
- ・給食調理員については、55人削減した。(いずれも令和3年4月現在)

### 【取組項目8】職員力の向上と新たな組織風土づくり

#### 趣旨・目的

自主的・主体的にリーダーシップを發揮し、能力開発やキャリア形成につながる自己啓発に取り組むことができるよう組織風土を醸成することで、より質の高い教育行政の推進や市民サービスの向上をめざす。

#### 取組内容・目標

- ・定期的に担当者ミーティングを実施すること等により、職員間の情報共有及びコミュニケーションを活性化させ、業務能率の向上を図る。
- ・多様化する職員のニーズを把握しながら、ワーク・ライフ・バランス推進の観点から、柔軟な働き方を受容する意識改革や職場環境づくりに務める。

#### 当年度の取組実績及び目標の達成状況

- ・風通しの良い職場風土づくりのため、継続的に担当者ミーティングを実施し、情報共有やコミュニケーションを一層図ることで、組織力の向上に寄与した。
- ・ワーク・ライフ・バランスの観点から、ノー残業デー該当日に職員周知を行う等、職員が定時退庁しやすい環境づくりを推進することができた。

### 3 教育振興基本計画に掲げられた目標の進捗状況

評価結果：【A】進捗状況が順調で目標達成が期待できる

【B】進捗状況が順調とは言えず、より一層の取組が必要である

目標	達成状況	評価結果
目標1 子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現 施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現		<b>小学校【B】/ 中学校【B】</b> 全国と同様、不登校の状態にある児童生徒の在籍比率が増加傾向にある。めざす目標の水準に対して大きな差があり、順調とは言えない。 <b>主な事業</b> ・大阪市版教育支援センター（適応指導教室）の開設 ・SNS教育相談の実施
いじめの解消率：令和3年度末に小学校95%、中学校95%		<b>小学校【A】/ 中学校【B】</b> 小学校はめざす目標の水準に達しており、順調である。中学校はめざす目標の水準に対して大きな差があり、順調とは言えない。 <b>主な事業</b> ・生活指導支援員の配置 ・こどもサポートネットの全区実施
「学校のきまり・規則を守っていますか」に対して肯定的に回答する児童生徒の割合：令和3年度末に小学校91.0%、中学校94.0%		<b>小学校【-】/ 中学校【-】</b> 新型コロナの影響による全国調査未実施のため、未測定 <b>参考：昨年度</b> 中学校は継続して改善傾向にあり、小学校も改善が見られ、めざす目標の達成が見込まれる。 <b>主な事業</b> ・道徳教育の推進 ・「学校安心ルール」の活用
施策2 道徳心・社会性の育成		<b>小学校【-】/ 中学校【-】</b> 新型コロナの影響による全国調査未実施のため、未測定 <b>参考：昨年度</b> 小中学校いずれもめざす目標の水準に達しており、順調に推移している。 <b>主な事業</b> ・道徳教育の推進 ・キャリア教育の充実と推進
「自分には良いところがありますか」に対して肯定的に回答する児童生徒の割合：令和3年度末に小学校75.0%、中学校70.0%		<b>小学校【-】/ 中学校【-】</b> 新型コロナの影響による全国調査未実施のため、未測定 <b>参考：昨年度</b> 小中学校いずれも改善傾向にあつたが、元年度は全国平均と同じく肯定的回答の割合が減少し、めざす目標の水準を下回っており、順調に推移しているとは言えない。 <b>主な事業</b> ・道徳教育の推進

目標	達成状況	評価結果																																																
「将来の夢や目標を持っていますか」に対して肯定的に回答する児童生徒の割合：令和3年度末に小学校85.0%、中学校71.0%	<p>○将来の夢や目標を持っていますか(小学校)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>本市 (%)</th> <th>全国 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H26</td><td>86.7</td><td>86.5</td></tr> <tr><td>H27</td><td>84.3</td><td>85.3</td></tr> <tr><td>H28</td><td>82.8</td><td>85.9</td></tr> <tr><td>H29</td><td>83.5</td><td>85.1</td></tr> <tr><td>H30</td><td>83.2</td><td>83.8</td></tr> <tr><td>R1</td><td>80.5</td><td></td></tr> <tr><td>R2</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>○将来の夢や目標を持っていますか(中学校)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>本市 (%)</th> <th>全国 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H26</td><td>71.4</td><td>71.7</td></tr> <tr><td>H27</td><td>71.1</td><td>71.1</td></tr> <tr><td>H28</td><td>70.5</td><td>72.4</td></tr> <tr><td>H29</td><td>66.2</td><td></td></tr> <tr><td>H30</td><td>67.9</td><td></td></tr> <tr><td>R1</td><td>66.1</td><td></td></tr> <tr><td>R2</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	期間	本市 (%)	全国 (%)	H26	86.7	86.5	H27	84.3	85.3	H28	82.8	85.9	H29	83.5	85.1	H30	83.2	83.8	R1	80.5		R2			期間	本市 (%)	全国 (%)	H26	71.4	71.7	H27	71.1	71.1	H28	70.5	72.4	H29	66.2		H30	67.9		R1	66.1		R2			<p>小学校【－】/中学校【－】 新型コロナの影響による全国調査未実施のため、未測定 【参考：昨年度】 小中学校いずれも全国平均と同じく、肯定的回答の割合が減少傾向にあり、めざす目標の水準を下回っており、順調とは言えない。 主な事業 ・キャリア教育の充実と推進</p>
期間	本市 (%)	全国 (%)																																																
H26	86.7	86.5																																																
H27	84.3	85.3																																																
H28	82.8	85.9																																																
H29	83.5	85.1																																																
H30	83.2	83.8																																																
R1	80.5																																																	
R2																																																		
期間	本市 (%)	全国 (%)																																																
H26	71.4	71.7																																																
H27	71.1	71.1																																																
H28	70.5	72.4																																																
H29	66.2																																																	
H30	67.9																																																	
R1	66.1																																																	
R2																																																		
「インクルーシブ教育システムの充実と推進を図った」とする学校の割合：令和3年度末に100%	<p>○「インクルーシブ教育システムの充実と推進を図った」とする学校の割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H27</td><td>93.0</td></tr> <tr><td>H28</td><td>96.9</td></tr> <tr><td>H29</td><td>97.4</td></tr> <tr><td>H30</td><td>98.0</td></tr> <tr><td>R1</td><td>97.6</td></tr> <tr><td>R2</td><td>97.4</td></tr> </tbody> </table>	期間	割合 (%)	H27	93.0	H28	96.9	H29	97.4	H30	98.0	R1	97.6	R2	97.4	<p>【B】 概ね順調に進捗しているが、めざす目標の達成に向けてはより一層の取組が必要である。 主な事業 ・インクルーシブ教育システムの充実と推進</p>																																		
期間	割合 (%)																																																	
H27	93.0																																																	
H28	96.9																																																	
H29	97.4																																																	
H30	98.0																																																	
R1	97.6																																																	
R2	97.4																																																	
<b>施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援</b>																																																		
「PTAや地域の人が学校の諸活動にボランティアとして参加してくれますか」に対して肯定的に回答する学校の割合：令和3年度末に全国平均以上	<p>OPTAや地域の人が学校の諸活動にボランティアとして参加してくれますか(小学校)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>本市 (%)</th> <th>全国 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H26</td><td>91.0</td><td>96.8</td></tr> <tr><td>H27</td><td>92.6</td><td>97.1</td></tr> <tr><td>H28</td><td>92.8</td><td>97.7</td></tr> <tr><td>H29</td><td>95.9</td><td>98.6</td></tr> <tr><td>H30</td><td>97.3</td><td>97.7</td></tr> <tr><td>R1</td><td>97.6</td><td>97.8</td></tr> <tr><td>R2</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>OPTAや地域の人が学校の諸活動にボランティアとして参加してくれますか(中学校)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>本市 (%)</th> <th>全国 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H26</td><td>83.6</td><td>94.6</td></tr> <tr><td>H27</td><td>90.3</td><td>95.1</td></tr> <tr><td>H28</td><td>90.9</td><td>95.6</td></tr> <tr><td>H29</td><td>96.2</td><td>97.5</td></tr> <tr><td>H30</td><td>83.2</td><td>90.4</td></tr> <tr><td>R1</td><td>80.7</td><td>90.4</td></tr> <tr><td>R2</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	期間	本市 (%)	全国 (%)	H26	91.0	96.8	H27	92.6	97.1	H28	92.8	97.7	H29	95.9	98.6	H30	97.3	97.7	R1	97.6	97.8	R2			期間	本市 (%)	全国 (%)	H26	83.6	94.6	H27	90.3	95.1	H28	90.9	95.6	H29	96.2	97.5	H30	83.2	90.4	R1	80.7	90.4	R2			<p>小学校【－】/中学校【－】 新型コロナの影響による全国調査未実施のため、未測定 【参考：昨年度】 小学校は順調に推移し、めざす目標の達成が見込まれる。中学校は肯定的回答の割合が減少し、全国平均との差も広がり、目標の達成に向けて順調とは言えない。 主な事業 ・学校協議会、学校元気アップ地域本部事業など ・土曜授業の実施</p>
期間	本市 (%)	全国 (%)																																																
H26	91.0	96.8																																																
H27	92.6	97.1																																																
H28	92.8	97.7																																																
H29	95.9	98.6																																																
H30	97.3	97.7																																																
R1	97.6	97.8																																																
R2																																																		
期間	本市 (%)	全国 (%)																																																
H26	83.6	94.6																																																
H27	90.3	95.1																																																
H28	90.9	95.6																																																
H29	96.2	97.5																																																
H30	83.2	90.4																																																
R1	80.7	90.4																																																
R2																																																		
「読書は好きですか」に対して肯定的に回答する児童生徒の割合：令和3年度末に全国平均以上	<p>○「読書は好きですか」に対して肯定的に回答する児童の割合(小学校)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>本市 (%)</th> <th>全国 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H27</td><td>68.8</td><td>72.8</td></tr> <tr><td>H28</td><td>69.9</td><td>74.6</td></tr> <tr><td>H29</td><td>69.5</td><td>74.3</td></tr> <tr><td>H30</td><td></td><td>75.0</td></tr> <tr><td>R1</td><td>71.2</td><td></td></tr> <tr><td>R2</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>○「読書は好きですか」に対して肯定的に回答する生徒の割合(中学校)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>本市 (%)</th> <th>全国 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H27</td><td>56.9</td><td>67.9</td></tr> <tr><td>H28</td><td>59.6</td><td>69.9</td></tr> <tr><td>H29</td><td>59.1</td><td>69.9</td></tr> <tr><td>H30</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>R1</td><td>58.7</td><td></td></tr> <tr><td>R2</td><td></td><td>68.0</td></tr> </tbody> </table>	期間	本市 (%)	全国 (%)	H27	68.8	72.8	H28	69.9	74.6	H29	69.5	74.3	H30		75.0	R1	71.2		R2			期間	本市 (%)	全国 (%)	H27	56.9	67.9	H28	59.6	69.9	H29	59.1	69.9	H30			R1	58.7		R2		68.0	<p>小学校【－】/中学校【－】 新型コロナの影響による全国調査未実施のため、未測定 【参考：昨年度】 小中学校ともに横ばいで推移し、全国平均との差も依然としてあり、めざす目標の水準に対し、順調とは言えない。 主な事業 ・学校図書館の活性化</p>						
期間	本市 (%)	全国 (%)																																																
H27	68.8	72.8																																																
H28	69.9	74.6																																																
H29	69.5	74.3																																																
H30		75.0																																																
R1	71.2																																																	
R2																																																		
期間	本市 (%)	全国 (%)																																																
H27	56.9	67.9																																																
H28	59.6	69.9																																																
H29	59.1	69.9																																																
H30																																																		
R1	58.7																																																	
R2		68.0																																																
<b>目標2 心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上</b>																																																		
<b>施策4 全ての基礎となる幼児教育の普及と質の向上</b>																																																		
就学前教育カリキュラムでの「知・徳・体」の育ちについてのアンケートにおいて肯定的に回答する市立幼稚園・保育所の保護者の割合：令和3年度末に80%	<p>○就学前教育カリキュラムでの「知・徳・体」の育ちについてのアンケートにおいて、肯定的に回答する市立幼稚園・保育所の保護者の割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>本市 (%)</th> <th>全国 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H29</td><td>94.2</td><td></td></tr> <tr><td>H30</td><td>94.5</td><td></td></tr> <tr><td>R1</td><td>93.0</td><td></td></tr> <tr><td>R2</td><td>93.1</td><td></td></tr> </tbody> </table>	期間	本市 (%)	全国 (%)	H29	94.2		H30	94.5		R1	93.0		R2	93.1		<p>【A】 肯定的回答の割合は前年度よりわずかに上昇しているが、めざす目標の水準を上回っている。 主な事業 ・幼児教育カリキュラムの浸透と実践</p>																																	
期間	本市 (%)	全国 (%)																																																
H29	94.2																																																	
H30	94.5																																																	
R1	93.0																																																	
R2	93.1																																																	

目標	達成状況	評価結果																																																																																																																																																
施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組																																																																																																																																																		
全国学力・学習状況調査における平均正答率の対全国比：令和3年度末に小学校国語0.96、算数0.99、中学校国語0.97、数学0.96	<p>○平均正答率の対全国比(小学校 国語)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>国語A</th> <th>国語B</th> <th>国語</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H25</td><td>0.94</td><td>0.95</td><td>0.94</td></tr> <tr><td>H26</td><td>0.96</td><td>0.96</td><td>0.94</td></tr> <tr><td>H27</td><td>0.96</td><td>0.96</td><td>0.95</td></tr> <tr><td>H28</td><td>0.96</td><td>0.95</td><td>0.93</td></tr> <tr><td>H29</td><td>0.95</td><td>0.93</td><td>0.92</td></tr> <tr><td>H30</td><td>0.93</td><td>0.91</td><td>0.91</td></tr> <tr><td>R1</td><td></td><td></td><td>0.91</td></tr> <tr><td>R2</td><td></td><td></td><td>0.92</td></tr> </tbody> </table> <p>○平均正答率の対全国比(小学校 算数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>算数A</th> <th>算数B</th> <th>算数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H25</td><td>0.98</td><td>0.97</td><td>0.97</td></tr> <tr><td>H26</td><td>0.97</td><td>0.96</td><td>0.95</td></tr> <tr><td>H27</td><td>0.97</td><td>0.96</td><td>0.95</td></tr> <tr><td>H28</td><td>0.97</td><td>0.95</td><td>0.95</td></tr> <tr><td>H29</td><td>0.95</td><td>0.95</td><td>0.92</td></tr> <tr><td>H30</td><td>0.97</td><td>0.95</td><td>0.95</td></tr> <tr><td>R1</td><td>0.98</td><td>0.95</td><td>0.98</td></tr> <tr><td>R2</td><td></td><td></td><td>0.98</td></tr> </tbody> </table> <p>○平均正答率の対全国比(中学校 国語)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>国語A</th> <th>国語B</th> <th>国語</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H25</td><td>0.95</td><td>0.91</td><td>0.91</td></tr> <tr><td>H26</td><td>0.96</td><td>0.97</td><td>0.97</td></tr> <tr><td>H27</td><td>0.97</td><td>0.96</td><td>0.93</td></tr> <tr><td>H28</td><td>0.96</td><td>0.94</td><td>0.94</td></tr> <tr><td>H29</td><td>0.96</td><td>0.95</td><td>0.95</td></tr> <tr><td>H30</td><td>0.97</td><td>0.95</td><td>0.95</td></tr> <tr><td>R1</td><td>0.96</td><td>0.96</td><td>0.96</td></tr> <tr><td>R2</td><td></td><td></td><td>0.97</td></tr> </tbody> </table> <p>○平均正答率の対全国比(中学校 数学)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>数学A</th> <th>数学B</th> <th>数学</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H25</td><td>0.94</td><td>0.92</td><td>0.89</td></tr> <tr><td>H26</td><td>0.93</td><td>0.96</td><td>0.92</td></tr> <tr><td>H27</td><td>0.96</td><td>0.97</td><td>0.95</td></tr> <tr><td>H28</td><td>0.97</td><td>0.96</td><td>0.95</td></tr> <tr><td>H29</td><td>0.96</td><td>0.95</td><td>0.94</td></tr> <tr><td>H30</td><td>0.95</td><td>0.95</td><td>0.94</td></tr> <tr><td>R1</td><td>0.95</td><td>0.95</td><td>0.95</td></tr> <tr><td>R2</td><td></td><td></td><td>0.95</td></tr> </tbody> </table>	期間	国語A	国語B	国語	H25	0.94	0.95	0.94	H26	0.96	0.96	0.94	H27	0.96	0.96	0.95	H28	0.96	0.95	0.93	H29	0.95	0.93	0.92	H30	0.93	0.91	0.91	R1			0.91	R2			0.92	期間	算数A	算数B	算数	H25	0.98	0.97	0.97	H26	0.97	0.96	0.95	H27	0.97	0.96	0.95	H28	0.97	0.95	0.95	H29	0.95	0.95	0.92	H30	0.97	0.95	0.95	R1	0.98	0.95	0.98	R2			0.98	期間	国語A	国語B	国語	H25	0.95	0.91	0.91	H26	0.96	0.97	0.97	H27	0.97	0.96	0.93	H28	0.96	0.94	0.94	H29	0.96	0.95	0.95	H30	0.97	0.95	0.95	R1	0.96	0.96	0.96	R2			0.97	期間	数学A	数学B	数学	H25	0.94	0.92	0.89	H26	0.93	0.96	0.92	H27	0.96	0.97	0.95	H28	0.97	0.96	0.95	H29	0.96	0.95	0.94	H30	0.95	0.95	0.94	R1	0.95	0.95	0.95	R2			0.95	<p>小学校【-】/ 中学校【-】</p> <p>新型コロナの影響による全国調査未実施のため、未測定</p> <p>【参考：平成30年度】</p> <p>平成30年度調査において、中学校は改善が認められ、めざす目標の水準に対し、順調に進歩している。小学校は特に知識に関する問題についてめざす目標の達成に向けて順調とは言えない。</p> <p>【参考：令和元年度】</p> <p>令和元年度調査より知識・活用に関する問題の一元化が図られ、これまでの目標の達成状況を測ることができなくなったため、目標を「平均正答率の対全国比：令和2年度末に小学校国語0.96、算数0.99、中学校国語0.97、数学0.96」と改定した。</p> <p><b>主な事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上を図るための学習支援の充実</li> <li>・学校力UPベース事業(習熟度別少人数授業など個に応じた指導の充実)の実施</li> </ul>
期間	国語A	国語B	国語																																																																																																																																															
H25	0.94	0.95	0.94																																																																																																																																															
H26	0.96	0.96	0.94																																																																																																																																															
H27	0.96	0.96	0.95																																																																																																																																															
H28	0.96	0.95	0.93																																																																																																																																															
H29	0.95	0.93	0.92																																																																																																																																															
H30	0.93	0.91	0.91																																																																																																																																															
R1			0.91																																																																																																																																															
R2			0.92																																																																																																																																															
期間	算数A	算数B	算数																																																																																																																																															
H25	0.98	0.97	0.97																																																																																																																																															
H26	0.97	0.96	0.95																																																																																																																																															
H27	0.97	0.96	0.95																																																																																																																																															
H28	0.97	0.95	0.95																																																																																																																																															
H29	0.95	0.95	0.92																																																																																																																																															
H30	0.97	0.95	0.95																																																																																																																																															
R1	0.98	0.95	0.98																																																																																																																																															
R2			0.98																																																																																																																																															
期間	国語A	国語B	国語																																																																																																																																															
H25	0.95	0.91	0.91																																																																																																																																															
H26	0.96	0.97	0.97																																																																																																																																															
H27	0.97	0.96	0.93																																																																																																																																															
H28	0.96	0.94	0.94																																																																																																																																															
H29	0.96	0.95	0.95																																																																																																																																															
H30	0.97	0.95	0.95																																																																																																																																															
R1	0.96	0.96	0.96																																																																																																																																															
R2			0.97																																																																																																																																															
期間	数学A	数学B	数学																																																																																																																																															
H25	0.94	0.92	0.89																																																																																																																																															
H26	0.93	0.96	0.92																																																																																																																																															
H27	0.96	0.97	0.95																																																																																																																																															
H28	0.97	0.96	0.95																																																																																																																																															
H29	0.96	0.95	0.94																																																																																																																																															
H30	0.95	0.95	0.94																																																																																																																																															
R1	0.95	0.95	0.95																																																																																																																																															
R2			0.95																																																																																																																																															
普段、学校の授業以外で全く勉強しない児童生徒の割合：令和3年度末に小学校4.0%、中学校9.0%	<p>○普段、学校の授業以外で全く勉強しない児童生徒の割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H27</td><td>7.0</td><td>11.2</td></tr> <tr><td>H28</td><td>7.0</td><td>11.8</td></tr> <tr><td>H29</td><td>7.5</td><td>11.4</td></tr> <tr><td>H30</td><td>7.7</td><td>10.7</td></tr> <tr><td>R1</td><td>6.9</td><td>9.1</td></tr> <tr><td>R2</td><td>9.4</td><td></td></tr> </tbody> </table>	期間	小学校	中学校	H27	7.0	11.2	H28	7.0	11.8	H29	7.5	11.4	H30	7.7	10.7	R1	6.9	9.1	R2	9.4		<p>小学校【B】/ 中学校【-】</p> <p>新型コロナの影響による全国調査未実施のため、未測定。小学校の数値は、学力経年調査を代用。</p> <p>【参考：令和元年度】</p> <p>中学校は改善が見られ、めざす目標の達成が見込まれる。小学校は横ばい状態にあり、めざす目標の水準に対して順調とは言えない。</p> <p><b>主な事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後を活用した学習機会の支援</li> </ul>																																																																																																																											
期間	小学校	中学校																																																																																																																																																
H27	7.0	11.2																																																																																																																																																
H28	7.0	11.8																																																																																																																																																
H29	7.5	11.4																																																																																																																																																
H30	7.7	10.7																																																																																																																																																
R1	6.9	9.1																																																																																																																																																
R2	9.4																																																																																																																																																	
理科の授業で、「自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている」と回答する児童生徒の割合：令和3年度末に小学校70.0%、中学校45.0%	<p>○理科の授業で、「自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている」と回答する児童生徒の割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H27</td><td>64.7</td><td>38.9</td></tr> <tr><td>H28</td><td></td><td>41.2</td></tr> <tr><td>H29</td><td></td><td>68.3</td></tr> <tr><td>H30</td><td></td><td>69.6</td></tr> <tr><td>R1</td><td></td><td>70.6</td></tr> <tr><td>R2</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	期間	小学校	中学校	H27	64.7	38.9	H28		41.2	H29		68.3	H30		69.6	R1		70.6	R2			<p>小学校【A】/ 中学校【-】</p> <p>新型コロナの影響による全国調査未実施のため、未測定。小学校の数値は、学力経年調査を代用。</p> <p>【参考：令和元年度】</p> <p>小学校は前年度より改善が見られ、めざす目標の達成が見込まれる。中学校は未測定であるが、目指す目標の達成に向けて、取組は順調に進歩している。</p> <p><b>主な事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理数教育の充実</li> </ul>																																																																																																																											
期間	小学校	中学校																																																																																																																																																
H27	64.7	38.9																																																																																																																																																
H28		41.2																																																																																																																																																
H29		68.3																																																																																																																																																
H30		69.6																																																																																																																																																
R1		70.6																																																																																																																																																
R2																																																																																																																																																		

目標	達成状況	評価結果																																																
「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合：令和3年度末に 小学校 66.0%、中学校 58.0%	<p>○「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して肯定的に回答する児童生徒の割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>小学校 (%)</th> <th>中学校 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H27</td><td>60.5</td><td>50.4</td></tr> <tr><td>H28</td><td>61.1</td><td>52.7</td></tr> <tr><td>H29</td><td>62.7</td><td>51.9</td></tr> <tr><td>H30</td><td>72.3</td><td>64.0</td></tr> <tr><td>R1</td><td>69.5</td><td>61.5</td></tr> <tr><td>R2</td><td>72.5</td><td>73.4</td></tr> </tbody> </table>	期間	小学校 (%)	中学校 (%)	H27	60.5	50.4	H28	61.1	52.7	H29	62.7	51.9	H30	72.3	64.0	R1	69.5	61.5	R2	72.5	73.4	<p>小学校【A】/ 中学校【A】 新型コロナの影響による全国調査未実施のため、未測定。小学校は学力経年調査を、中学校は1、2年生チャレンジテストをそれぞれ代用。 【参考：令和元年度】 小中学校いずれもめざす目標の水準に達しており、順調に推移している。</p> <p>主な事業 ・「主体的・対話的で深い学び（アクティブラーニング）」の推進</p>																											
期間	小学校 (%)	中学校 (%)																																																
H27	60.5	50.4																																																
H28	61.1	52.7																																																
H29	62.7	51.9																																																
H30	72.3	64.0																																																
R1	69.5	61.5																																																
R2	72.5	73.4																																																
施策6 国際社会において生き抜く力の育成	<p>○中学校卒業段階で、CEFRのA1レベル相当以上の英語力を有する生徒の割合：令和3年度末に 50%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>大阪市 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H25</td><td>18.7</td></tr> <tr><td>H26</td><td>24.0</td></tr> <tr><td>H27</td><td>29.9</td></tr> <tr><td>H28</td><td>38.9</td></tr> <tr><td>H29</td><td>52.2</td></tr> <tr><td>H30</td><td>52.8</td></tr> <tr><td>R1</td><td>54.0</td></tr> <tr><td>R2</td><td>54.0</td></tr> </tbody> </table>	期間	大阪市 (%)	H25	18.7	H26	24.0	H27	29.9	H28	38.9	H29	52.2	H30	52.8	R1	54.0	R2	54.0	<p>【-】 新型コロナの影響による本市独自調査未実施のため、未測定 【参考：令和元年度】 めざす目標の水準に達している。国の第3期教育振興基本計画において、測定指標をCEFRのA1レベル相当以上としていることから、目標を左記のとおり改定する。</p> <p>主な事業 ・英語教育の強化</p>																														
期間	大阪市 (%)																																																	
H25	18.7																																																	
H26	24.0																																																	
H27	29.9																																																	
H28	38.9																																																	
H29	52.2																																																	
H30	52.8																																																	
R1	54.0																																																	
R2	54.0																																																	
施策7 健康や体力を保持増進する力の育成	<p>○全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点(小学校)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>男子 (%)</th> <th>女子 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H26</td><td>52.3</td><td>53.5</td></tr> <tr><td>H27</td><td>52.2</td><td>53.5</td></tr> <tr><td>H28</td><td>52.6</td><td>54.3</td></tr> <tr><td>H29</td><td>52.8</td><td>54.6</td></tr> <tr><td>H30</td><td>52.8</td><td>54.5</td></tr> <tr><td>R1</td><td>52.5</td><td>54.5</td></tr> <tr><td>R2</td><td>52.5</td><td>54.5</td></tr> </tbody> </table> <p>○全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点(中学校)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>男子 (%)</th> <th>女子 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H26</td><td>40.5</td><td>47.5</td></tr> <tr><td>H27</td><td>40.6</td><td>48.1</td></tr> <tr><td>H28</td><td>41.3</td><td>49.2</td></tr> <tr><td>H29</td><td>41.0</td><td>49.3</td></tr> <tr><td>H30</td><td>41.7</td><td>50.1</td></tr> <tr><td>R1</td><td>41.0</td><td>50.1</td></tr> <tr><td>R2</td><td>41.0</td><td>50.1</td></tr> </tbody> </table>	期間	男子 (%)	女子 (%)	H26	52.3	53.5	H27	52.2	53.5	H28	52.6	54.3	H29	52.8	54.6	H30	52.8	54.5	R1	52.5	54.5	R2	52.5	54.5	期間	男子 (%)	女子 (%)	H26	40.5	47.5	H27	40.6	48.1	H28	41.3	49.2	H29	41.0	49.3	H30	41.7	50.1	R1	41.0	50.1	R2	41.0	50.1	<p>小学校【-】/ 中学校【-】 新型コロナの影響による全国調査未実施のため、未測定 【参考：令和元年度】 全般的には緩やかな上昇傾向にあったが、小・中学校とも男子の結果が前年度より低下し、めざす目標の水準に対して順調とは言えない。</p> <p>主な事業 ・子どもの体力向上支援</p>
期間	男子 (%)	女子 (%)																																																
H26	52.3	53.5																																																
H27	52.2	53.5																																																
H28	52.6	54.3																																																
H29	52.8	54.6																																																
H30	52.8	54.5																																																
R1	52.5	54.5																																																
R2	52.5	54.5																																																
期間	男子 (%)	女子 (%)																																																
H26	40.5	47.5																																																
H27	40.6	48.1																																																
H28	41.3	49.2																																																
H29	41.0	49.3																																																
H30	41.7	50.1																																																
R1	41.0	50.1																																																
R2	41.0	50.1																																																
「食に関する指導の年間指導計画」を作成している学校の割合：令和3年度末に 100%	<p>○「食に関する指導の年間指導計画」を作成している学校の割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>小学校 (%)</th> <th>中学校 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H27</td><td>87.0</td><td>68.0</td></tr> <tr><td>H28</td><td>100.0</td><td>89.0</td></tr> <tr><td>H29</td><td>100.0</td><td>100.0</td></tr> <tr><td>H30</td><td>100.0</td><td>100.0</td></tr> <tr><td>R1</td><td>100.0</td><td>100.0</td></tr> <tr><td>R2</td><td>100.0</td><td>100.0</td></tr> </tbody> </table>	期間	小学校 (%)	中学校 (%)	H27	87.0	68.0	H28	100.0	89.0	H29	100.0	100.0	H30	100.0	100.0	R1	100.0	100.0	R2	100.0	100.0	<p>【A】 取組が順調に進捗し、めざす目標を達成している。</p> <p>主な事業 ・食育の推進</p>																											
期間	小学校 (%)	中学校 (%)																																																
H27	87.0	68.0																																																
H28	100.0	89.0																																																
H29	100.0	100.0																																																
H30	100.0	100.0																																																
R1	100.0	100.0																																																
R2	100.0	100.0																																																
施策8 施策を実現するための仕組みの推進	<p>自校の「運営に関する計画」が目標どおり達成できたとする学校の割合：令和3年度末に 75%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期間</th> <th> (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H29</td><td>81.2</td></tr> <tr><td>H30</td><td>91.4</td></tr> <tr><td>R1</td><td>90.3</td></tr> <tr><td>R2</td><td>76.7</td></tr> </tbody> </table>	期間	(%)	H29	81.2	H30	91.4	R1	90.3	R2	76.7	<p>【A】 前年度より肯定的回答の割合が減少しているものの順調に進捗し、目標を達成している。</p> <p>主な事業 ・校園長によるマネジメントの強化</p>																																						
期間	(%)																																																	
H29	81.2																																																	
H30	91.4																																																	
R1	90.3																																																	
R2	76.7																																																	

目標	達成状況	評価結果
<p>国語・算数（数学）の授業について、「好き」「わかる」と回答する児童生徒の割合：令和3年度末に「好き」小学校国語 58.0%、算数 66.0%、中学校国語 60.0%、数学 56.0%、 「わかる」小学校国語 80.0%、算数 80.0%、中学校国語 75.0%、数学 70.0%</p> 	 	<p>小学校【B】/ 中学校【一】 新型コロナの影響による全国調査未実施のため、未測定。小学校の数値は、学力経年調査を代替 【参考：令和元年度】 「好き」と回答する児童生徒の割合は、全ての項目で改善が見られ、小学校においては、めざす目標の水準に達しており、中学校においても、めざす目標の達成が見込まれる。 「わかる」と回答する児童生徒の割合についても概ね順調に進捗し、めざす目標の水準に達している。</p> <p><b>主な事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育実践のイノベーションにつながる研究の推進</li> <li>・若手教員の指導力向上と校内研修の支援</li> </ul>